

株式会社 ポプラ
2012年9月11日

ポプラ第4次情報システムの導入開始

『新店舗POSシステムの導入と情報系システムの全面改定』

2012年8月より導入を開始し10月末を目処に全店舗に導入予定

株式会社ポプラ（本社：広島県広島市、代表取締役社長：目黒真司）は、ポプラ第4次情報システムとして店舗システムおよび情報系システムの再構築を進め、2012年8月より導入を開始いたしました。

新店舗POSシステムの導入によって、幅広い電子マネーに対応し、お客さまの更なる利便性向上と各決済サービスの利用促進を図ってまいります。また、新情報系システムではレシートレベルのPOS情報を蓄積・分析できるようにすることで、顧客特性・立地特性に応じたマーチャンダイジングの展開を促進します。

2012年8月31日（金）までに33店舗の導入が完了しており、10月末を目処にポプラグループの約700店全店に導入を完了する予定です。

記

【ポプラ第4次システムでのイノベーション・ポイント】

1. 新店舗POSシステム

- ・従来システムでは店舗ストコンのみで管理していた単品管理情報を本部情報系システムに吸い上げ、個店の販売動向・単品管理情報をもとにマーチャンダイジング分析を実施。
- ・商圈特性に応じた品揃えの幅、投入数の最適化につながる情報を店舗フィードバックし、仮説発注力の底上げを促進。

2. 幅広い電子マネーへの対応

- ・新POSレジスターは、マルチカードリーダーを導入し、各種電子マネーに対応。
また、クレジット決済も2013年春に導入予定。
*電子マネー導入ニュースリリース（別紙）をご参照ください。

3. 情報系システム

- ・ビジネスインテリジェンスツールにSAP社のBusiness Object、DWHにSybase IQを採用。レシートレベルのPOS情報を蓄積・高速分析を実現。
- ・商圈タイプ別、顧客別、時間帯別の販売分析情報の提供
- ・顧客特性・立地特性の分析に基づく個店対応の強化

※DWH（Data Ware House）は、時系列に蓄積されている業務データの中から、各項目間の関連性を分析するシステム。

※Sybase IQは、高度な分析、データ・ウェアハウスおよびBI環境に特化して設計された分析サーバの名称。

4. マルチ業態対応型システム

- ・多様な業態フォーマットに対応できるしくみ
- ・駅中のキオスクなどマイクロ商圈フォーマットのためのシングルレジ対応
- ・商品情報DBの柔軟性・拡張性の確保によるスーパー、ドラッグ業態などSKUボリュームに対応

5. 店内に無線LANの導入による店舗端末での情報連携強化

- ・新規商品情報を画像などリッチコンテンツで配信
- ・気象情報など発注精度を高めるコーザル情報の提供強化

【 第4次POSシステム画像 】



以上